

(終了時評価)

研究開発課題名	地震災害時における空港舗装の迅速な点検・復旧方法に関する研究	担当課 (担当課長名)	国土技術政策総合研究所空港研究部(空港施設研究室 長:坪川将丈)
研究開発の概要	地震後の空港供用再開を迅速且つ確実に実行するため、空港舗装(滑走路・誘導路・エプロン)の被害程度や調達可能機材に応じ、空港管理者(国土交通省航空局・地方公共団体・空港会社)が被害を迅速に点検し、復旧方法を選択する上での判断基準を確立する。【研究期間:平成29~令和元年度 研究費総額:約13百万円】		
研究開発の目的・目標 (アウトプット指標、アウトカム指標)	地震時の空港舗装の被害の点検・復旧の判断基準を確立することにより、空港管理者が地震後の空港における復旧優先順位の設定及び復旧を迅速に行い、空港がいち早く緊急輸送の拠点として機能することを可能とする。		
必要性、効率性、有効性等の観点からの評価	<p>【必要性】</p> <p>平成28年熊本地震において熊本空港が緊急輸送の拠点として機能したように、地震時に空港の果たす役割は大きい。地震が発生すると、空港管理者は緊急点検を実施し、空港舗装の被害を速やかに確認し、空港運用に支障となりうる被害は速やかに復旧する必要がある。しかしながら、空港管理者の多くは空港舗装の地震被害に関する十分な専門的知識を有しておらず、点検方法や復旧方法の決定に時間を要する恐れがある。そのため、空港舗装の被害程度や調達可能機材に応じ、空港管理者が被害を迅速に点検し、復旧方法を選択する上での判断基準が必要である。</p> <p>【効率性】</p> <p>空港舗装の調査・補修等について国土交通省航空局が定めている「空港舗装補修要領」の原案作成を担う国総研が実施した関連研究や過去の地震被害調査の知見を用いることで、効率的に実施した。また、空港舗装に関する技術的知見を有する国総研が主体となり、空港管理者と連携を図ることにより、実効性の高い成果を得た。</p> <p>【有効性】</p> <p>空港管理者が地震後の空港舗装を迅速に点検・復旧するための判断基準を確立することにより、地震後の空港供用再開を迅速化し、いち早く空港が緊急輸送の拠点として機能することに資する。</p>		
外部評価の結果	<p>必要性を踏まえた目的と研究内容の妥当性については、空港は発災後の復旧が極めて重要であることから、得られた研究成果の有用性も認められ、ニーズを的確に捉えた内容であり、今後の災害後の緊急復旧に資することが十分可能と判断でき、各種マニュアル等への即時的な反映も期待できることから、適切であったと評価する。</p> <p>目標の達成度については、判断基準の確立という研究の目的は十分に達成されていることに加え、FWDによる空洞検出方法は、空港舗装の通常の維持管理や他の施設にも応用可能であることから、目標を達成することに加え、目標以外の成果も出すことができたことと評価する。</p> <p>今後は、実際の地震後の復旧活動を想定し、BCPとの有機的な連携、研修時の解説、本マニュアルを用いた定期的な訓練、空港担当者からのフィードバックを通じた改善、長期にわたる活用体制を整えていただくこと等を希望し、更なる研究の継続と発展を期待</p>		

	<p>する。</p> <p>&lt;外部評価委員会委員一覧&gt; (令和 2年11月27日、国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会)</p> <table border="0"> <tr> <td>主 査</td> <td>兵藤 哲朗</td> <td>東京海洋大学教授</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>岩波 光保</td> <td>東京工業大学教授</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>喜多 秀行</td> <td>神戸大学名誉教授</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>野口 哲史</td> <td>(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会委員長</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>二村 真理子</td> <td>東京女子大学教授</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>横木 裕宗</td> <td>茨城大学大学院教授</td> </tr> </table> <p>※詳細は、国土技術政策総合研究所 HP&gt;国総研について&gt;研究評価&gt;各年度の評価結果&gt;令和2年度 (<a href="http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/hyouka/index.htm">http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/hyouka/index.htm</a>) に記載 (予定)</p>	主 査	兵藤 哲朗	東京海洋大学教授	委 員	岩波 光保	東京工業大学教授	委 員	喜多 秀行	神戸大学名誉教授	委 員	野口 哲史	(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会委員長	委 員	二村 真理子	東京女子大学教授	委 員	横木 裕宗	茨城大学大学院教授
主 査	兵藤 哲朗	東京海洋大学教授																	
委 員	岩波 光保	東京工業大学教授																	
委 員	喜多 秀行	神戸大学名誉教授																	
委 員	野口 哲史	(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会委員長																	
委 員	二村 真理子	東京女子大学教授																	
委 員	横木 裕宗	茨城大学大学院教授																	
総合評価	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> A</td> <td>十分に目標を達成できた</td> <td><input type="radio"/> B</td> <td>概ね目標を達成できた</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> C</td> <td>あまり目標を達成できなかった</td> <td><input type="radio"/> D</td> <td>ほとんど目標を達成できなかった</td> </tr> </table>	<input checked="" type="radio"/> A	十分に目標を達成できた	<input type="radio"/> B	概ね目標を達成できた	<input type="radio"/> C	あまり目標を達成できなかった	<input type="radio"/> D	ほとんど目標を達成できなかった										
<input checked="" type="radio"/> A	十分に目標を達成できた	<input type="radio"/> B	概ね目標を達成できた																
<input type="radio"/> C	あまり目標を達成できなかった	<input type="radio"/> D	ほとんど目標を達成できなかった																